



国際ロータリー 第2570地区
行田ロータリークラブ

知新 温故
子どもたちに 明るい未来を



2016-17 年度 RI 会長:ジョン・ジャーム / ガバナー:前嶋修身 / 会長:大野年司 / 幹事:渡辺久記
クラブ会報委員会 委員長:松岡 保 / 例会日:木曜日 午後 12:30 開会 / 会場:ベルヴィアイトピア

第2465回 10月第3例会 10月20日(木)

[公立前橋工科大学大学院教授 榎野 紀元様卓話例会]

- 点鐘 大野年司 会長
- 榎野 紀元様 卓話
- 会長の時間 大野年司 会長
- 謝辞
- 幹事報告 渡辺久記 幹事
- 出席奨励・スマイル委員会
- 委員会報告
- 点鐘 大野年司 会長

点 鐘 会 長 の 時 間



10 月としては朝から少々暑い日ですが、素晴らしい陽気となりました。皆様お元気で何よりのことと思います。

皆様、突然ですが「建築社会学者」という言葉はご耳にしたことがありますでしょうか？ 私事で恐縮ですが、実は私、学生時代「建築学」を学んでいました。建築の構造、デザイン、材料等、工学的な事を学べば学ぶほど、その「建築社会学」というような学問が必要ではないか？との思いを強くしました。当時学校にも提起したこともありましたが。建築することは同時に、社会とのかかわりは避けて通れません。仕事に就いてからも、建築社会学者は、必ずいるはずだとの思いで、探し求め続けました。そして20年後や

っとある人に紹介を受け、榎野先生と出会うことが出来たわけです。以来、先生とお付き合いを頂いております。

では「建築社会学」とはどのようなことなのか、という事ですが、例えば天井の高い家で育った子はと大物になるのか言われます。住環境が人に必ず何らかの影響をもたらすことや、シックハウス症候群問題、また、今は車社会ですが、我々人類は車で大変な利便を得ることができました。同時に CO2、地球温暖化問題を抱えることとなりました。かつての水俣病問題等も、日本の高度成長期に発生しました。日本の高度成長期に得たものも多いわけですが、人間学的なことも含め多くの大切なこともたくさん失ってしまったかと思えます。

「温故知新 子ども達に明るい未来を」と考えたとき、この間、失ってしまったものに目を向け、大切にしていかなければと強く思うのです。私達一人一人がそういう事を意識して、仕事に取り組み、日々の生活を送る事が大切と思っています。

先生は、NPO 法人の代表としても活動され、子供向けの論語教室等、具体的活動をされ尊敬している方です。これからも先生には大いにご活躍を頂き、世の中を良くして頂きたいと願っております。

幹 事 報 告



本日は、公立前橋工科大学大学院教授 榎野紀元（かしのりもと）さんによる卓話例会です。榎野先生よろしくお願いたします。

では幹事報告をいたします。

1. 先週の金曜日14日に、富士見鮎さんにて、ロータリー情報委員会が開催されました。その場におきまして、既に理事会にて推薦承認済の3名の方より、入会申込書を頂きましたので、本日この場にてお名前を発表させていただきます。

小澤照章さん 勤務先 松坂屋建材株式会社 代表取締役 推薦者は湯本会員

木島圭介さん 勤務先 (有)山海物産 代表取締役 推薦者は新井誠会員

藤間利一さん 勤務先 一級建築士事務所藤間建築工房 代表 推薦者は新井誠会員

以上3名の方について異議のある方は、本日から1週間以内に、理事会宛に書面にて提出をお願いいたします。

2. 先週の日曜日16日に、栃木県日光市にあります杉の郷カントリークラブにて、白河ロータリークラブとの親睦ゴルフが開催されました。天候にも恵まれ、大変楽しい交流が出来たと思います。担当された、健康管理・ゴルフ委員会の皆様ありがとうございました。

3. また、一昨日18日には白河 RC との交流の一環として、石渡エレクトに白河クラブの夜間例会にて卓話をして頂きました。会長幹事と石渡エレクト及び山本姉妹クラブ委員長の4名で伺いましたが、例によって大変な歓待を頂き、とても有意義な時間を過ごすことができました。尚、来週の例会は、白河

RCの鈴木エレクト他4名の方が来訪され、卓話を頂く予定になっています。場所は富士見鮎さんで、18:30からの夜間例会となります。お間違えの無いようお願いいたします。

4. 本日は、例会終了後に、みらいづくり特別委員会主催による、「パスト会長懇談会パート3」が、お隣の部屋で開催されます。出席される方は、お忘れ無きようお願いいたします。

委 員 会 報 告



みらいづくり特別委員会 島崎委員長

第3回パスト会長懇談会のお知らせ及び参加要請

本 日 の 卓 話



榎野 紀元様

どうしても伝えたい「5対95則」

日頃、認識されないものが、大きなパワーを持っているたとえば人間の脳は活動に5%費やし、残り95%は無心のときに発揮されるそうです。スポーツでも無心の時に凄い力を発揮するのは、その為だそうです。ゴルフなどスポーツをされる方は、邪心を捨て、無心で臨むと良い結果が生まれると思います？実に興味深いお話でした。

謝 辞



山本(憲)副会長



司会 倉持会員

出席状況報告



齋藤委員長

T	正会員数	63名
A	85年規定承認者	16名
A	理事会欠席承認者	
P	本日の出席者	36名
B	各承認者の例会出席者	10名
MU	本日のメーキャップ者	3名
本日の出席率		68%

ニコニコ報告

○大野会員

樫野先生、今日はありがとうございます。

○渡辺会員

樫野先生、本日はありがとうございました。

○新井(誠)会員

先日の白河親睦コンペでは、大変お世話になりました。

次回は12月8日を予定していますので、よろしくお願ひします。

※本日のニコニコは7000円でした。

ありがとうございました。

みらいづくり委員会

例会終了後、別室にてパスト会長懇談会 PART3が開催されました。

趣旨説明



島崎委員長

一花を知らんと思わば先ず種を知るべし

今年度の運営方針は温故知新です。古い事柄を研究してそこから新しい知識や見解を得る意味で使われていると思いますので、まさにこの委員会の為につけてくれたタイトルのようです。

しかし行田 RC50年の中には数え切れない無数の事柄があって、ひとくちに歴史を振り返ると言ってもそのどんな部分を振り返れば今後へのヒントが見つかるのか、もしかすると大きな出来事よりもそこに至る迄に小さな事柄の中にそういうものはあるのかもしれませんが、なかなか難しいと感じます。

ある歴史学者によれば歴史の研究とは出来事の原因を調べることだそうです。昔 世阿弥という人は芸能の世界で「花を知らんと思わば先ず種を知るべし」と言いました。今回の企画はパストプレジデントの皆さんから思い出深い

出来事や場面とその訳を伺って、それらを繋ぐ作業を通して今後に生かすことの出来そうな原因と結果つまり種と花を見つけようという試みです。

行田 RC 創立の50年前と今とでは世界も日本も大きく変わりました。成熟社会・価値観多様化・IT 革命・地域衰退というトレンドの中で、既にロータリーの会員減少は世界的傾向であり、クラブを取り巻く環境も私達の自覚以上に変化しているものと思われま

す。ロータリーにとって難しい時代ではありますが、これから皆さんのお話を聴かせて頂くなかで色々と考えていければと思います。

小山PP会員のはなし



現役最年長の小山会員からクラブ50年の歴史の中でこれだけは若い人達に伝えておきたい事として、ロータリーの基本は地域社会に対する職業奉仕である。またお金のかからない事業を計画して欲しいと具体的な実例を出してお話を頂きました。

各パスト会長のはなし



諸貫、小山、山本(憲)、蔭山、福島、富田パスト会長に出席頂き、思い出の場面とその訳、会長年度 特に注力したこととして、地区大会時の行田RC婦人の協力や、予算の見直し(継続事業を行うと新しい事業ができない)の実施、白河交流の見直し、ロータリー文庫の内容などいろいろなお話を頂きました。

各パスト会長への質問



- ・諸貫PPへはロータリーとライオンズの違い
- ・小山PPへは何故、中井ガバナーを認めようとしなかったのか
- ・山本PPへはロータリー事業をするときのポイント、勘所、ツボについて
- ・蔭山PPへはこれからロータリーはどこへ向かうのでしょうか
- ・福島PPへはロータリーの楽しさとは
- ・富田PPへは倫理法人会について答えて頂きました。内容については後日、みらい委員会より報告いたします。

今後について

「次の50年に向けて考えるべきこと」として

- ・ロータリー活動を一般の人に知ってもらう
- ・人口知能など第3産業の勉強会の実施
- ・人の増員
- ・みらい委員会の勉強会を若い人で継続させるなどいろいろなコメントをいただきました。



パスト会長の貴重な体験談などをお聞かせいただき今後のロータリーに生かそうという試みは非常に意義あることであります。是非皆様も参加されてみてはいかがでしょうか。